

田植時期別の出穂期予測について（令和2年8月10日現在）

令和2年度から、鳥取県産米改良協会では、鳥取県農業試験場の研究成果を活用し、幼穂形成期、出穂期、刈取適期の予測について情報提供を行います。（毎週水曜日更新予定）

出穂期、刈取適期の予測を行いますので、追肥・出穂前後の防除等の作業計画、適期収穫を目指した収穫作業計画の参考として活用してください。

「ひとめぼれ」、「コシヒカリ」は大部分が出穂期を迎えたので、「きぬむすめ」の予測結果を掲載し、今年度の出穂期予測は終了します。

【情報を活用する上での注意点】

○出穂期は、ほ場の約50%が出穂している状況のことです。穂揃期と異なります。

○アメダスの実測値及び1ヶ月予報値を基に各1kmメッシュの気温を推定し、この数値を品種ごとの生育予測モデル式に当てはめて出穂期を予測しています。（現地での確認を行いました。予測日の推定精度は概ね±2日以下となっています）

○あくまでも目安であり、地形、かんがい水温などのほ場条件、水管理、施肥などの栽培条件等によっては誤差がでることがあります。

【現時点での状況】

○5月25日移植の「きぬむすめ」は、農試作況田の直近5年間の平均出穂期と比較して、2日遅い。

農試作況田での予測

	R2予測日	直近5年平均	備考
きぬむすめ 5月25日移植	8月16日	8月14日	2日遅い

【きぬむすめの予測出穂期】

標高	田植日				
	5月10日	5月20日	5月30日	6月10日	6月20日
0～49m	8月9日	8月14日	8月18日	8月20日	8月25日
50～99m	8月10日	8月14日	8月18日	8月21日	8月25日
100～149m	8月10日	8月15日	8月18日	—	—
150～199m	8月11日	8月15日	8月19日	—	—
上記予測日の範囲	±2日	±2日	±1日	±1日	±1日

注)表中に過日の日付もありますが、出穂期を把握できなかった人への参考予測値として掲示しています。

【その他】

・出穂期予測は、発育速度を算出する生育予測モデル式(堀江・中川1990)を参考にして出穂期予測を行っています。

・用いた気象データは、予測当日まではアメダス観測地点の実測、翌日～1ヶ月先までは気象庁の1ヶ月予報、1ヶ月先以降は平年値データを1kmメッシュごとに展開したデータを活用。

・5/10～5/30の予測は稚苗移植、6/10は中苗移植で算出。

・出穂期予測に必要な気象データは、農研機構と㈱ライフビジネスウェザーが共同開発し、㈱ライフビジネスウェザーが提供するメッシュ農業気象システムの気象データを用いています。

・出穂期を予測したいほ場の標高は、地図等で検索してください。

※詳細なデータの問い合わせについては、農業試験場 または、お近くの農業改良普及所へ。

【参考】 鳥取県内における1kmメッシュの平均標高分布図

